

社会資本総合整備計画（社会資本総合整備交付金）

事後評価書

平成 29 年 8 月 7 日

計画の名称	白川村における循環のみちの実現		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）	交付対象	白川村
計画の目標	下水道施設の改築を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		

計画の成果目標（定量的指標）	① 下水処理場における長寿命化計画策定率を0%（H24）から100%（H28）に増加させる。 ② 下水処理場における施設改築率を0%（H24）から75%（H28）に増加させる。 ③ 下水道処理場でし尿等を共同処理するための施設整備率を0%（H24）から100%（H28）に増加させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
① 下水処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの下水処理場数 / 長寿命化計画を策定すべき下水処理場数	0%	100%	100%	
② 下水処理場における施設改築率 改築済み施設数 / 改築が必要と考えられる施設数	0%	19%	75%	
③ 下水道処理場でし尿等を共同処理するための施設整備率 施設の整備数 / 整備が必要と考えられる施設数	0%	100%	100%	

全体事業費	合計 (A + B + C)	619百万円 503.27百万円	A	619百万円 503.27百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.0% 0.0%
上段：計画 下段：実績（少数第3位を四捨五入）										

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
白川村基盤整備課内で評価を実施	平成29年8月
	公表の方法
	村のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業 上段：計画 下段：実績（少数第3位を四捨五入）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
大郷処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	白川村	直接	白川村	水処理・汚泥処理	改築	長寿命化計画策定（長寿命化・処理場）	計画・調査	白川村						8 7.97	長寿命化
A1-1-2	下水道	一般	白川村	直接	白川村	水処理	改築	白川クレーンセンター水処理施設（長寿命化・処理場）	曝気装置・汚泥かき寄せ機等	白川村						187 71.93	長寿命化
A1-1-3	下水道	一般	白川村	直接	白川村	汚泥処理	改築	白川クレーンセンター汚泥処理施設（長寿命化・処理場）	汚泥脱水機・汚泥ポンプ等	白川村						359 344.29	長寿命化
A1-1-4	下水道	一般	白川村	直接	白川村	-	全種	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成 一式 長寿命化詳細設計・汚泥受入設計	白川村						1 14.49	
A1-1-5	下水道	一般	白川村	直接	白川村	水処理・汚泥処理	新設	白川クレーンセンター汚水処理施設共同整備事業（MICS）	希釈・受入設備等	白川村						64 64.59	MICS
															619		
															合計（下水道事業）	503.27	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
合計																	

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
										H24			H25	H26	H27	H28
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・下水処理場における長寿命化計画策定により、財政の健全化及び設備更新の計画的な策定が可能となった。 ・下水処理場における施設改築率が向上したことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を継続するための条件整備ができた。 ・下水道処理場でし尿等を共同処理するための施設が整ったため、他市への処理委託が無くなり、経費が削減された。 									
II 定量的指標の達成状況	指標①下水処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの(下水処理場数 / 長寿命化計画を策定すべき下水処理場数)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因							
		最終実績値	100%								
	指標②下水処理場における施設改築率(改築済み施設数 / 改築が必要と考えられる施設数)	最終目標値	75%	目標値と実績値 に差が出た要因							
		最終実績値	75%								
	指標③下水道処理場でし尿等を共同処理するための施設整備率(施設の整備数 / 整備が必要と考えられる施設数)	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因							
		最終実績値	100%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)											

3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> ・更なる公衆衛生の向上や水質保全を図るため、次期(H29年度からH33年度)社会資本総合整備計画においても、引き続き更新整備を行っていく。 										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

